

## 表紙について

題：日本アルプスと上高地

画像の右上に富士山を望む、立山・黒部を含む「日本3大アルプス」全景（写真上）。上の画像の手前付近に聳える北アルプスの東側には、松本市方面に流れる梓川の源流に程近く、槍・穂高連邦が見渡せる名勝地：上高地（写真下）がある。日本の中部山岳地帯などの自然環境は非常によく保全されているが、亜高山帯や山地帯以下の地域、即ち、特に瀬戸内海沿岸の山陽地方の照葉樹林帯に生育する低木の原種（ヤマザクラ、ヤマツツジなど）や様々な草本類に関しては近年の異常気象も一因してか、晩秋もしくは冬期の気温の上昇の折に、所謂、初春に開花する植物の開花が、ここ30余年、早まる傾向にある。しかも、タンポポやホトケノザなどは「秋咲き」も見られることがある。それに対して、秋に開花する一般的な花の開花（ヒガンバナやモクセイなど）や紅葉・落葉などには大きな季節的な変化は見受けられない。また、昆虫（セミ類）の季節変化に関しては、クマゼミの羽化がアブラゼミのそれと同時期に早まり、セミ類の「北限の上昇」が有名である。

画像提供者：中島 伸佳